

モスクワ・ソロイスト

### Moscow Soloists

モスクワ・ソロイストは、1992年にヴィオラのユーリ・バシュメットによって創設された。これまでに、カーネギー・ホール（ニューヨーク）、モスクワ音楽院大ホール、コンセルトヘボウ（アムステルダム）、サントリーホール（東京）、バービカン・ホール（ロンドン）、フィルハーモニー（ベルリン）他、世界有数のコンサートホールで公演を行い、いずれも好評を博してきた。

共演した演奏家としては、リヒテル、クレーメル、ロストロポーヴィチ、レーピン、サラ・チャン、ゴールウェイ等、錚々たる名が挙がる。

1994年、2006年にリリースしたCDはグラミー賞にノミネートされ、2007年にはストラヴィンスキーとプロコフィエフの作品を収録したCDがグラミー賞を受賞した。

これまでに、世界各国での音楽祭に出演。エヴィアン・ロストロポーヴィチ音楽祭（フランス）、モントルー音楽祭（スイス）、シドニー音楽祭、バース音楽祭（イギリス）、BBCプロムス（イギリス）、「プレスティージュ・ド・ラ・ムジーク」（フランス）、ソニー・クラシカル音楽祭（フランス）、「トゥール音楽週間」（フランス）、「12月の夕べ」（ロシア）などの権威ある音楽祭に頻繁に出演している。

世界5大陸の40カ国以上での公演に出演し、いずれも聴衆の熱烈な喝采を浴びている。レパートリーは200曲を超え、クラシックの名曲や、演奏される機会の少ない過去から現在に至る作曲家の作品を網羅している。プログラムは斬新で、バラエティに富んでおり、魅力的な曲が初演されることも特徴の一つである。ロシア内外の様々なテレビ番組に出演しており、そのコンサートはBBC、バイエルン放送、フランス放送、NHKといった世界を代表する放送局によって度々収録され、放送されている。